



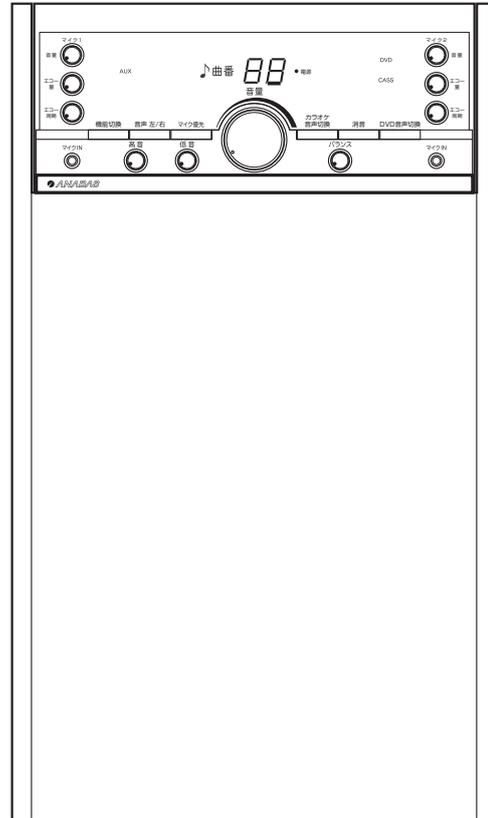
DVD カラオケシステム

DVD-K110

取扱説明書

保証書付

保証書に、お買い上げ日、販売店などが記入されていることをご確認ください。



ご使用になる前に

この取扱説明書(保証書付)を最後までお読みのうえ正しくお使いください。

本製品は家庭用として作られており、業務用には使用出来ません。室内での使用に限ります。

日本国内専用
FOR USE IN JAPAN ONLY

お買い上げいただきありがとうございました。

なお、この取扱説明書(保証書付)は、大切に保管してください。万一ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

目次

安全上のご注意	2
お使いになる前に	5
付属品	5
再生できるディスク	5
再生できないディスク	5
使用環境について	5
著作権について	5
設置のしかた	6
プレーヤーおよびスピーカーの設置のしかた	6
ワイヤレスマイクの準備のしかた	6
各部の名称	7
プレーヤーユニット前パネル	7
プレーヤーユニット後パネル	7
プレーヤーユニット上パネル	8
ワイヤレスマイク	8
リモコン	9

カラオケの使いかた	10
電源を入れる	10
機能の選択と楽曲の再生について	10
ディスクを再生する	10
有線マイク(別売)を接続する	11
音量や音質を調節する	11
カラオケ、その他の機能を使う	11
カセットテープデッキの使いかた	12
初期設定について	13
設定変更のしかた	13
設定項目の説明	13
主な仕様	14
故障かな?と思ったら	14
保証とアフターサービス	15
アフターサービスについて	15
保証書	16

安全上のご注意

製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐため、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、必ずお守りください。

製品を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

■【記号の意味】

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	 注意	人がけがをしたり、損害の発生が想定される内容を示しています。
--	---------------------------------	---	--------------------------------

■本文中に使われている絵表示の意味は、次のとおりです。

 禁止	 分解禁止	 ぬれ手禁止	 接触禁止	 水ぬれ禁止	 水場での使用禁止	 指示を守る	 プラグを抜く
--	---	--	---	--	--	--	---

■本体の取扱いについて

警告

 **発煙や変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く**
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

 **電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したときは、電源プラグが冷えたのを確認しコンセントから抜く**
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

 **電源プラグは交流 100V コンセントに根元まで確実に差し込む**
交流 100 ボルト以外を使用すると、火災・感電の原因となります。差し込みが悪いと、発熱し火災の原因となります。

 **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**
感電の原因となります。

 **分解・修理・改造はしない**
感電・火災の原因となります。内部の点検・調整および修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

 **雷が鳴り出したら、電源コードに触れない**
感電の原因となります。

 **付属ワイヤレスマイクの分解およびアンテナの付け替え等はしない**
付属ワイヤレスマイクの分解およびアンテナの付け替え等は、電波法で禁止されています。絶対に行わないでください。改造した機器を使用した場合は、電波法により罰せられますので、ご注意ください。

 **付属ワイヤレスマイクに貼られている証明ラベルをはがさない**
付属ワイヤレスマイクは、電波法施行規則第6条「特定小電力無線局」に該当する800MHz帯特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則（証明規則）第2条第1項第8号に規定する特定無線設備です。付属ワイヤレスマイクに貼られている証明ラベルは絶対にはがさないでください。

 **落としたり、強い衝撃を与えてキャビネットを破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く**
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

 **電源コードを取り扱うときは、次のことを守る**

- ・傷つけない
- ・延長するなど加工しない
- ・加熱しない・引っ張らない
- ・重い物を載せない・はさんだりしない
- ・無理に曲げない・ねじらない
- ・束ねたりしない

守らないと、火災・感電の原因となります。

⚠ 警告



機器の上に物を置いたり、異物を入れたりしない

金属類（クリップや針、コインなど）や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



雨天時の屋外や浴室など、水がかかったり、湿気の多い場所に置いたり使用したりしない

火災・感電の原因となります。
降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



機器の上に火のついたローソクなどの裸火や花瓶などの水の入ったものを置いたり、異物を入れたりしない

紙などの燃えやすい物や液体、金属類（クリップや針、コインなど）が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きゴミやほこりをとる

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。



内部に水や異物等が入ったらすぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

プラグを抜く



次のような場所には置かない

- 風呂場など、水がかかったり、湿気の多い場所
 - 雨、きりなどが直接入り込むような場所
 - 火のそば、暖房機器のそばなどの高温の場所
 - 直射日光の当たる場所
 - 炎天下の車内・ほこり、油煙の多い（調理場など）場所
 - 振動の強い場所
 - 腐食性ガス（亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど）の発生する場所
 - 極端な高温、低温、温度変化の激しい場所
 - ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所
- 火災・感電の原因となります。

⚠ 注意



電源プラグは容易に手が届くコンセントに接続する

電源スイッチを切っても電源から完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜くことができるようにしてください。



ディスク挿入口に手を入れない

けがの原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



機器の上に乗らない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



円形ディスク以外は使用しない

円形以外の特殊な形状（ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となります。



ひび割れ、変形、接着剤で補修したディスクを使用しない

高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となります。



ディスクが回転中は手を触れない

回転中にディスクに触れるとけがの原因となります。



音量に注意

- 始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷つけることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。
- 電源を切るときは音量を小さくしておいてください。電源を入れたとき、突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。

次のことを守る



長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意



長時間で使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜く

禁止

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。



プラグを抜く

電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源プラグを持って引き抜く

コードを持って引き抜くとコードが破損し、火災・感電の原因となります。



持ち運ぶときは製品を横にせずハンドルを持つ

禁止

プレーヤー部とスピーカー部は固定されていないので製品を横にするとプレーヤー部が落下し、けがの原因となります。



禁止

ディスクのピックアップレンズをのぞき込まない

レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。



持ち運ぶときは、電源プラグをコンセントから抜く

禁止

けがやコードの傷つき、火災・感電の原因となります。

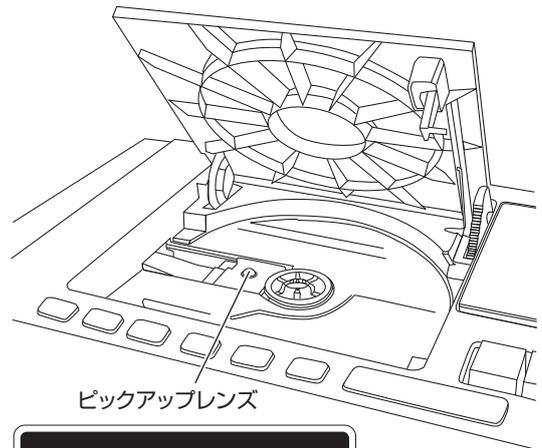


通風孔をふさがない

禁止

- 壁に押しつけない(背面10cm、左右側面5cm以上の間隔をあげる)
- 押し入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まない
- 新聞紙・テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしない
- あお向け・横倒し・逆さまにしない。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。



ピックアップレンズ



次のことを守る

乾電池を取り扱うときは、次のことを守る

- 日光やストーブ、火などの過度の熱にさらさない
- 指定以外の電池は使用しない
- 極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない
- 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない
- 乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池は入れておかない
- 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない
- 乾電池を入れたまま長時間放置しない
- 長時間使用したときは、本体から乾電池を取り出す
- 水にぬらしたり、ぬれた手を触れない

発熱・液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。

もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。

器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

■ 免責事項について

地震、雷、風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下で使用により生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。

取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

お使いになる前に

■ 付属品

本機はプレーヤーとスピーカーおよびワイヤレスマイクで構成されており、付属品はスピーカーユニットに同梱されている箱に入っていますので、お使いになる前に付属品が全て入っているかお確かめください。

- | | | | |
|------------------------|---|--------------------------|---|
| • 取扱説明書(本書、保証書付き)..... | 1 | • 電源コード(約1.8m)..... | 1 |
| • ワイヤレスマイク..... | 2 | ※付属の電源コードは本機専用です。 | |
| • マイクホルダー..... | 2 | 付属の電源コード以外は使わないでください。 | |
| • マイクホルダー取り付けネジ..... | 6 | 付属の電源コードを他の機器に使わないでください。 | |
| (3x16mm木ネジ(黒)) | | • リモコン..... | 1 |
| • 背面端子保護カバー..... | 1 | • 映像接続ケーブル(約3m)..... | 1 |

■ 再生できるディスク

記録状態や傷、汚れなどにより再生できない場合があります

- ・DVDビデオ(リージョン2、ALL)・DVD-R/-RW・CD-G
- ・CD-R/-RW・ビデオCD・音楽用CD

■ 再生できないディスク

大きな雑音が発生したり故障の原因となりますので再生しないでください

- ・リージョン2、ALL以外のDVDビデオ・DVD-ROM/-RAM・CD規格外の音楽用CD
- ・DVDオーディオ・スーパーオーディオCD・CD-I・CD-ROM など

■ 使用環境について

- ・本機は周囲温度が5～35℃の場所でお使いください。
- ・本機を気温が低い場所から気温が高い場所に移動したり、湿度が高い場所に移動すると結露が生じて正常に動作しないことがあります。このようなときは、本機の電源プラグを電源コンセントに差さない状態で約1～2時間放置し、乾燥させてからお使いください。

■ 著作権について

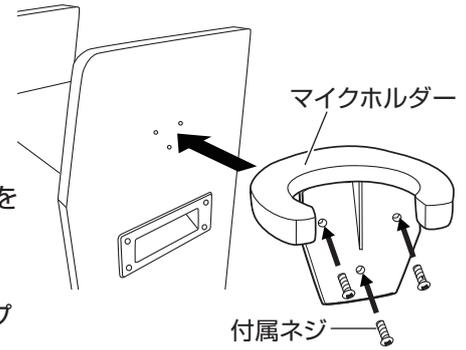
- ・ディスクを無断で複製、放送、上映、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。
- ・あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは著作権上、権利者に無断で使用できません。
- ・本機は、日本とアメリカ合衆国特許権、知的所有権上保障された著作権保護技術を搭載しています。一般家庭用または他の限られた視聴用だけに使用可能です。改造または分解は禁止されています。

設置のしかた

最初にプレーヤーとスピーカーおよびワイヤレスマイクの各ユニットと付属品を梱包箱から取り出して設置の準備をします。マイクホルダーの取り付けにはプラスドライバー (#2) が必要ですのご準備ください。

■ プレーヤーおよびスピーカーの設置のしかた

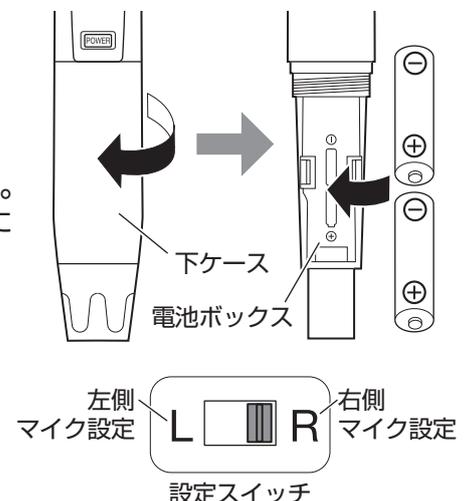
1. 付属マイクホルダーをスピーカーユニット側面に取り付けます。
(左右各1個)
 - スピーカーユニット側面のネジ穴(3箇所)に合わせて、プラスドライバーを用いて付属のネジで取り付けてください。
2. プレーヤーユニットをスピーカーユニットの天面に載せます。
 - プレーヤーユニットの前後を手で持ち、スピーカーユニットの天面の穴にプレーヤーユニットの脚の位置に合わせて載せてください。
3. スピーカーユニットの信号入力ケーブルとプレーヤーユニットのスピーカー出力ケーブルを接続します。
 - スピーカーユニットの信号入力ケーブルのプラグ(黒色)とプレーヤーユニットのスピーカー出力ケーブル(黒色)を接続してください。
4. 付属映像接続ケーブルをプレーヤーユニットの映像出力端子(黄色)に接続し、もう一方の端子をテレビやプロジェクターの映像入力端子(黄色)に接続します。
 - 付属映像接続ケーブルの端子(黄色)をプレーヤーユニットの映像出力端子(黄色)に接続し、もう一方の端子をテレビやプロジェクターなどディスクの映像を表示する機器のビデオ映像入力RCAピンジャック端子(黄色)に接続します。
 - 付属映像接続ケーブル(黄色)を使わずに、市販のHDMIケーブルをプレーヤーユニットのHDMI出力端子に接続し、テレビやプロジェクターなどディスクの映像を表示する機器のHDMI入力端子に接続すると画像がより鮮明に映ります。
5. 付属電源コードの接続端子をプレーヤーユニットの電源接続端子に接続します。
6. リモコンに乾電池を2本入れます。
 - リモコンの電池蓋を下側にスライドして開け、電池ボックスに表示されている+、-表示の極性に合わせて単4形アルカリ乾電池(別売)2本を装着し、電池蓋を閉めます。
7. ピックアップ輸送保護シートを外します。
 - 購入時にはディスクのピックアップ部には、ピックアップ輸送保護シートが取り付けられています。お使いになる前には必ずピックアップ輸送保護シートの外周を持って外してください。
 - 故障の原因となりますので、ピックアップに指が触れないように注意してください。
8. 電源ケーブルの電源プラグをコンセント(交流100V)に接続します。
9. 接続プラグの破損防止のため、背面端子保護カバーを背面端子部に取り付けます。
 - 背面端子保護カバーのツメ部分を背面端子保護カバー用スリットに引っ掛けるように取り付けてください。



■ ワイヤレスマイクの準備のしかた

1. 付属ワイヤレスマイクの下ケースを外します。
 - 付属ワイヤレスマイクの下ケースは、反時計回りに回すと外れます。
2. 付属ワイヤレスマイクに単3形アルカリ乾電池(別売)を2本入れます。
 - 付属ワイヤレスマイクの電池ボックスに表示されている+、-表示の極性に合わせて単3形アルカリ乾電池(別売)2本を装着します。

■ 付属のワイヤレスマイクは出荷時に1本はL(マイク1)、もう1本はR(マイク2)に設定してあります。設定スイッチを変更するとワイヤレスマイクが使いえなくなりますので、設定を変更しないでください。

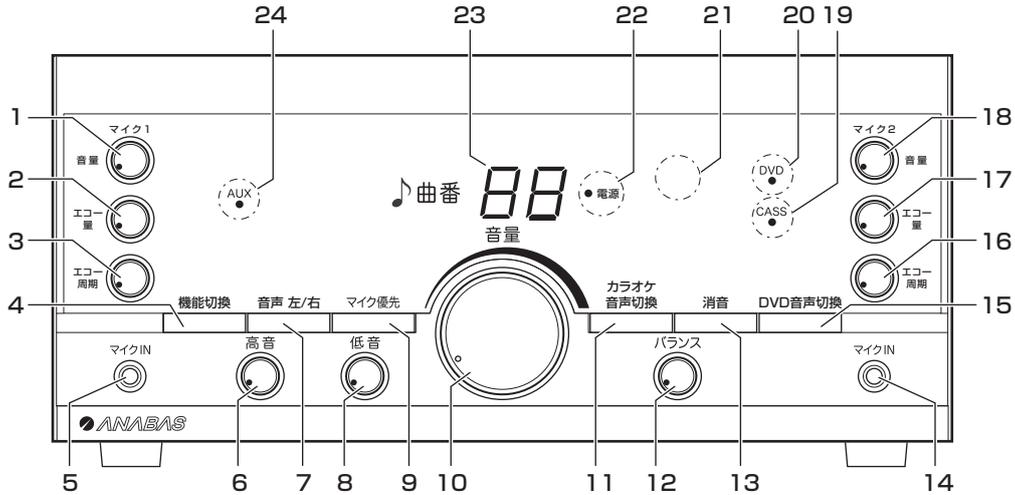


3. 付属ワイヤレスマイクの下ケースを取り付けます。
 - 付属ワイヤレスマイクの下ケースは、時計回りに回すと取り付けられます。

※プレーヤーユニットの受信設定は必要ありません。マイクに合わせて自動で行います。

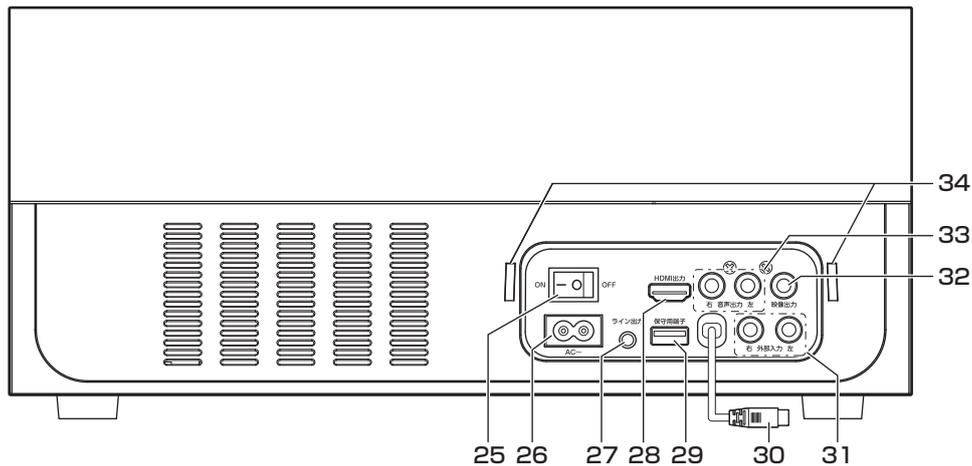
各部の名称

■ プレーヤーユニット前パネル



No	名称	No	名称	No	名称
1	左マイク 音量調整ツマミ	9	マイク優先ボタン	17	右マイク エコー量調整ツマミ
2	左マイク エコー量調整ツマミ	10	音量調整ツマミ	18	右マイク 音量調整ツマミ
3	左マイク エコー周期調整ツマミ	11	カラオケ音声切換ボタン	19	カセットテープデッキ機能表示
4	機能切換ボタン	12	音声左/右バランス調整ツマミ	20	DVD (ディスク) プレーヤー機能表示
5	左マイク 入力端子	13	消音ボタン	21	赤外線受光部
6	高音調整ツマミ	14	右マイク 入力端子	22	電源表示(スタンバイ)
7	音声左/右切換ボタン	15	DVD 音声切り換えボタン	23	曲番表示
8	低音調整ツマミ	16	右マイク エコー周期調整ツマミ	24	外部入力機能表示

■ プレーヤーユニット後パネル

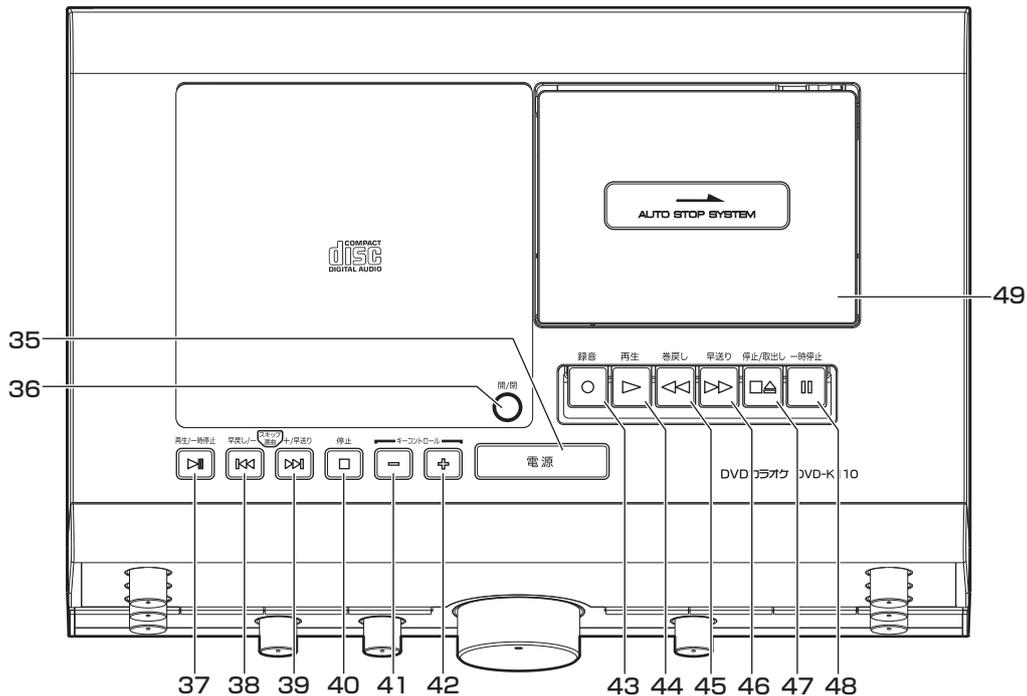


No	名称	No	名称	No	名称
25	主電源スイッチ(オン・スタンバイ/オフ)※1	29	保守用端子※2	33	DVD 音声出力端子(白/赤)※3
26	電源コード接続端子(極性なし)	30	スピーカー出力ケーブル(黒色)	34	背面端子保護カバー用スリット
27	ライン出力端子(Φ 3.5mm ステレオ)	31	外部入力端子(白/赤)※3		
28	HDMI出力端子※3	32	映像出力端子(黄)		

- ※1 電源オフの状態でも電源から完全には遮断されませんので、使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ※2 当社にて本機の保守用に使用します。故障の原因となりますので何も接続しないでください。
- ※3 音声入出力用RCAピンケーブルおよびHDMIケーブルは付属していません。

各部の名称 (つづき)

■ プレーヤーユニット上パネル

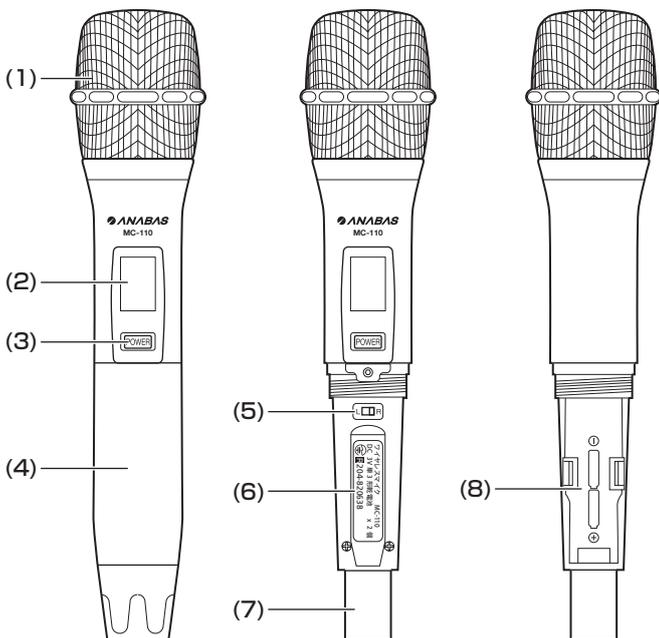


No	名称	No	名称	No	名称	
35	電源オン/スタンバイボタン(電源)※4	40	ディスク停止ボタン(■)	45	カセットテープ巻き戻しボタン(◀◀)	
ディスク操作部			41	キーコントロール(音程調整)ボタン(-)	46	カセットテープ早送りボタン(▶▶)
36	ディスクドア開閉操作位置(開/閉)	42	キーコントロール(音程調整)ボタン(+)	47	カセットテープ停止/取出ボタン(■▲)	
37	ディスク再生/一時停止ボタン(▶)	カセットテープデッキ操作部			48	カセットテープ一時停止ボタン()
38	ディスクスキップ-/早戻しボタン(◀◀)	43	カセットテープ録音ボタン(●)	49	カセットテープドア	
39	ディスクスキップ+/早送りボタン(▶▶)	44	カセットテープ再生ボタン(▶)			

※4 後パネルの主電源スイッチをオン・スタンバイにしないと電源は入りません。

■ ワイヤレスマイク

マイク内部(手前) マイク内部(奥側)

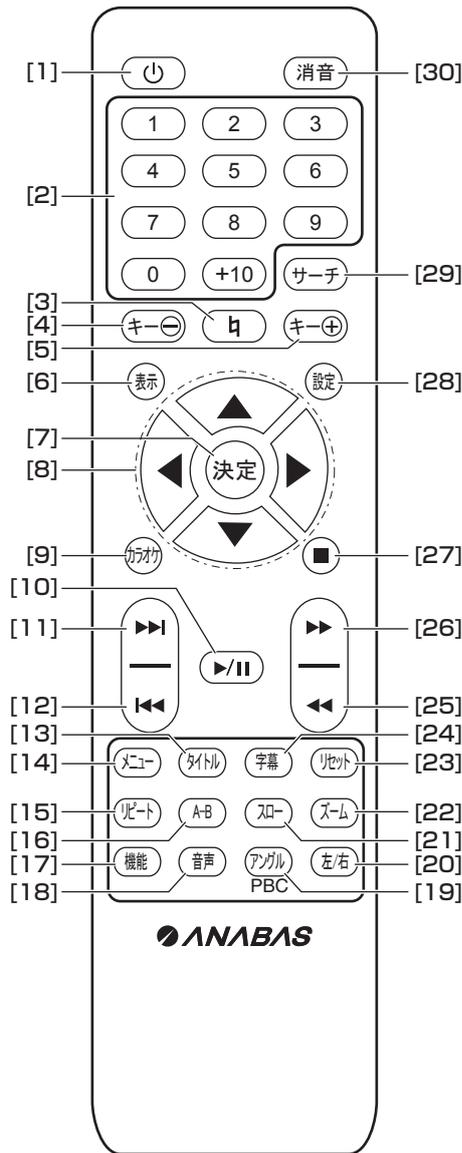


No	名称	No	名称
(1)	マイクヘッド	(5)	左右設定スイッチ
(2)	表示部	(6)	技術基準適合証明ラベル※1
(3)	電源(POWER)ボタン	(7)	アンテナケース
(4)	下ケース	(8)	電池ボックス

※1 証明ラベルは絶対にはがさないでください。証明ラベルをはがしたワイヤレスマイクは使えません。

■ ワイヤレスマイクの到達距離は、障害物や妨害電波がない状態で約40mです。
(乾電池が消耗していると、ワイヤレスマイクの到達距離は短くなります。)

リモコン



No	名称
[1]	電源オン/スタンバイボタン (⏻)
[2]	数字キー(1 ~ 9、0、+10)
[3]	キーコントロール(音程調整リセット) ボタン (⏸)
[4]	キーコントロール(音程調整-) ボタン(キー⊖)
[5]	キーコントロール(音程調整+) ボタン(キー⊕)
[6]	表示切換ボタン(表示)
[7]	決定ボタン(決定)
[8]	カーソルボタン(◀/▶/▲/▼)
[9]	カラオケ音声切換ボタン(カラオケ)
[10]	ディスク再生/一時停止ボタン(▶/)
[11]	ディスク再生スキップ送りボタン(▶▶)
[12]	ディスク再生スキップ戻しボタン(◀◀)
[13]	サブタイトルボタン(タイトル)
[14]	メニューボタン(メニュー)
[15]	リピート再生ボタン(リピート)
[16]	A-Bリピートボタン(A-B)
[17]	機能切換ボタン(機能)
[18]	DVD音声切換ボタン(音声)
[19]	アングル/PBC切換ボタン(アングル/PBC)
[20]	音声左/右切換ボタン(左/右)
[21]	スロー再生ボタン(スロー)
[22]	画面ズームボタン(ズーム)
[23]	リセットボタン(リセット)
[24]	字幕切換ボタン(字幕)
[25]	ディスク早戻しボタン(◀◀)
[26]	ディスク早送りボタン(▶▶)
[27]	ディスク停止ボタン(■)
[28]	設定切換ボタン(設定)
[29]	時間検索ボタン(サーチ)
[30]	消音ボタン(消音)

カラオケの使いかた

■ 電源を入れる

1. プレーヤーユニット後パネルの主電源スイッチをオン・スタンバイにします。
 - 電源表示(スタンバイ)が赤く点灯します。
2. プレーヤーユニット上パネルの「電源オン/スタンバイ(電源)」ボタン、または、リモコンの「電源オン/スタンバイ(Ⓞ)」ボタンを押して本体の電源を入れます。
 - 前パネルの曲番表示に「HI」が数秒表示され、選択されている機能(DVDプレーヤー、カセットテープデッキまたは外部入力)の表示が赤く点灯します。
3. ワイヤレスマイクの「電源(POWER)」ボタンを押します。
 - ワイヤレスマイクの電源が入ると、表示部にチャンネル、周波数および電池残量が表示されます。
 - 他のマイクと混信するなど、チャンネルを変える必要がある場合は、「電源(POWER)」ボタンを短く押します。
 - ワイヤレスマイクの電源を切るには、表示部が消えるまで「電源(POWER)」ボタンを押し続けます。

■ 機能の選択と楽曲の再生について

1. 本体の「機能切換(機能切換)」ボタンまたはリモコンの「機能切換(機能)」ボタンを押して再生する音源(DVDプレーヤー、カセットテープデッキまたは外部入力)を選択します。
 - 選択した機能の表示ライトが赤く点灯します。
 - テープを選択したときは12ページの「カセットテープデッキの使いかた」を参照して、カセットテープを再生してください。
 - 外部入力を選択したときは外部入力端子に接続した機器で楽曲を再生してください。

■ ディスクを再生する

1. DVDを再生する前に、本機の映像ケーブルを接続したテレビまたはモニターの電源を入れ、テレビまたはモニターの入力設定を映像接続ケーブルを接続した入力に切り換えます。
2. プレーヤーユニット上パネルの「ディスクドア開閉操作位置(開/閉)」を押してディスクドアを開けます。
3. 再生するディスクのレーベル面を上側に向けてディスクの中心をターンテーブルに合わせ、カチッと音がするまでディスクの中心部を押して装着します。
4. プレーヤーユニット上パネルのディスクドアを押し下げてディスクドアを閉めます。
 - ディスクドアが閉まると、ディスクが回転して記録情報を読み取り、映像画面にメニューを表示します。
 - CDを装着したときは、記録情報を読み取った後、自動的に1曲目の再生を開始します。(プレーバックコントロール機能を有効としたビデオCDを除く)
5. リモコンの「カーソル(◀/▶/▲/▼)」ボタンを押して、メニューの中から曲を選択し、「決定」ボタンを押します。
 - 「決定」ボタンを押すと再生を開始します。
 - リモコンの数字キーで再生する曲番を直接入力しても再生を開始します。(10曲目以降を再生する場合は+10と一桁目の数字キーを押してください。20曲目以降を再生する場合は+10、+10、一桁目の数字キーを押してください。)
 - ディスクによってはメニュー表示状態では数字キーを受け付けないものがありますので、このようなときはカーソルを使用するか、あるいは、ディスクの再生を開始した後で数字キーを押して曲を選択してください。
6. プレーヤーユニット前パネルの主音量つまみを調整し、再生する音の大きさを調節します。
7. 楽曲を早戻しする/早送りするときは、リモコンの「◀◀/▶▶」ボタンを押します。
 - ボタンを押す毎に速度が変わります。(ディスクの種類によって速度の変化が異なります。)
 - 早戻し/早送り中は音声は出ません。
8. 楽曲の頭に戻る、あるいは次の曲を選曲するときはプレーヤーユニット上パネル、またはリモコンの「◀◀/▶▶」ボタンを押します。

■ 有線マイク (別売) を接続する

付属ワイヤレスマイクの代わり、本機に有線マイク (別売) を2本接続できます。
マイク (別売) のプラグ (φ6.3mm 標準プラグ) をプレーヤーユニット前パネルの左右にある左マイク入力端子 (マイクIN) および右マイク入力端子 (マイクIN) に接続します。

■ 音量や音質を調節する

調節内容	調整つまみ	回転方向	効果
音量	主音量	時計まわり	再生音量が大きくなります。
		反時計まわり	再生音量が小さくなります。
高域	高域	時計まわり	高域が強くなります。
		反時計まわり	高域が弱くなります。
低域	低域	時計まわり	低域が弱くなります。
		反時計まわり	低域が強くなります。
ステレオ音声の左右のバランス	バランス	時計まわり	右の音が大きくなります。
		反時計まわり	左の音が大きくなります。
マイク音量	マイク音量	時計まわり	マイクの音量が大きくなります。
		反時計まわり	マイクの音量が小さくなります。
マイクエコー量	エコー量	時計まわり	マイクのエコー効果が増えます。
		反時計まわり	マイクのエコー効果が少なくなります。
マイクエコー周期	エコー周期	時計まわり	マイクのエコー周期が短くなります。
		反時計まわり	マイクのエコー周期が長くなります。

■ カラオケ、その他の機能を使う

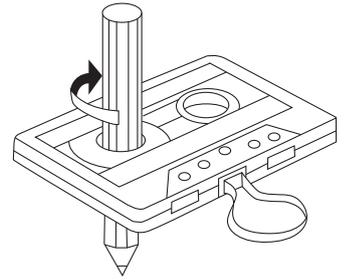
機能	操作ボタン/つまみ回転方向		効果
	本体	リモコン	
ボーカル音声を消す マルチ音声DVD 音声5ch出力	カラオケ 音声切換	カラオケ	再生するディスクにより音声の消しかたが異なります。 ボタンを押す毎に以下の順序で音声切り換わります。 音声切→音声1 (メイン) →音声2 (デュエット) →音声1+2 ディスクを装着したときは音声1+2に設定されます。
ステレオDVD ビデオCD、CD-G	音声左/右	左/右	ボタンを押すと音声左→右→モノ→ステレオと切り換わります。
	バランス	なし	つまみをまわした方向の音量が大きくなります。
音声が消えない場合	マイク優先	なし	ボタンを押してマイクの音が入るとマイクの音が優先されます。
メニュー (楽曲リスト) を表示する	なし	メニュー タイトル	ボタンを押します。ボタンを押してからメニューが表示されるまで数秒かかります。
曲を繰り返す	なし	リピート	ボタンを押す毎に以下の順序で切り換わります。 DVD: チャプター→タイトル→オール→取り消し CD: トラック→オール→取り消し
任意の区間を繰り返す	なし	A-B	ボタンを押すと繰り返し開始地点Aを記憶し、もう一度押すと繰り返し終了地点Bを記憶してA-B区間を繰り返し演奏します。もう一度ボタンを押すと解除します。
ビデオCDのメニュー 画面を表示する	なし	アングル/ PBC	PBC ボタンを押すとプレーバックコントロール機能付きビデオCD (ビデオCD2.0) のメニュー画面を表示します。
音程を高くする	キーコントロール⊕	キー⊕	1回押す毎に楽曲の音程が約1/4音高くなります。
音程を低くする	キーコントロール⊖	キー⊖	1回押す毎に楽曲の音程が約1/4音低くなります。
音程を元に戻す	なし	リ	ボタンを押すと楽曲の音程が元に戻ります。
音を消す	消音	消音	ボタン押すと音が消え、もう一度押すと解除します。
音声を切り換える	DVD 音声切換	音声	ボタンを押すと音声言語を切り換えます。(対応DVDのみ)
字幕言語を切り換える	なし	字幕	字幕ボタンを押すと字幕言語を切り換えます。(対応DVDのみ)
スロー再生する	なし	スロー	ボタンを押す毎に再生速度を遅くします。(4段階)
画面をズームする	なし	ズーム	ボタンを押す毎に画面のズームを変化します。 (拡大3段階→縮小3段階)
アングルを切り換える	なし	アングル/ PBC	ボタンを押す毎に記録されているアングルを切り換えます。(対応DVDのみ)
再生情報を表示する	なし	表示	ボタンを押すとディスクの再生情報が表示されます。
楽曲/場面を検索する	なし	サーチ	ボタンを押した後数字キーで曲番または時間 (映画) を入力します。

カラオケの使いかた (つづき)

■ カセットテープデッキの使いかた

■ 使用するカセットテープについて

- 録音・再生時間が60分以下のノーマルテープを使用してください。
- 故障の原因になりますので、しわがある、汚れている、折り目が付いている、べとついているテープは使用しないでください。
- テープにたるみがあるときは、使用する前に鉛筆などでたるみを取ってください。



■ ボタン操作について

カセットテープデッキの操作はカセットドアの手前にある操作ボタンで行います。

- ボタンを操作するときは、ボタンがロックするまで押し下げてください。
- 「カセットテープ停止/取出(■▲)」ボタンは、押し下げてもロックしません。

■ カセットテープの入れかた

1. 「カセットテープ停止/取出(■▲)」ボタンを押して、カセットテープドアを開けます。
2. カセットテープドアのカセットテープホルダーに再生したい面を上、テープが露出している方を手前に向けてカセットテープを入れます。
3. カセットテープドアがロックするまで押し下げて閉めます。

■ カセットテープデッキの操作

動作	操作方法
テープを再生する	1. 本体の機能切り換え(機能切換)ボタンまたはリモコンの「機能切り換えボタン(機能)」を押してテープを選択します。 2. 「カセットテープ再生(▶)」ボタンを押します。 再生が完了すると自動的に停止し、ボタンが元の位置に戻ります。
動作を停止する	「カセットテープ停止/取出(■▲)」ボタンを押します。 動作が停止し、ボタンが元の位置に戻ります。
再生を一時停止する	カセットテープを再生中に「カセットテープ一時停止ボタン(II)」ボタンを押します。 「カセットテープ一時停止ボタン(II)」ボタンがロックされます。
一時停止を解除する	カセットテープの一時停止中に「カセットテープ一時停止ボタン(II)」ボタンをもう一度押します。 「カセットテープ一時停止ボタン(II)」ボタンのロックが解除されテープの再生を再開します。
テープを早送りする	「カセットテープ早送り(▶▶)」ボタンを押します。 テープが最後まで巻き取られてもボタンが自動では戻りません。「カセットテープ停止/取出(■▲)」ボタンを押して、早送りを解除してください。
テープを巻き戻す	「カセットテープ巻き戻し(◀◀)」ボタンを押します。 テープが最初まで巻き取られてもボタンが自動では戻りません。「カセットテープ停止/取出(■▲)」ボタンを押して、巻き戻しを解除してください。
テープに録音する	1. 本体の機能切り換え(機能切換)ボタンまたはリモコンの「機能切り換えボタン(機能)」を押して録音する音源(ディスクまたは外部入力)を選択します。 2. 「カセットテープ録音(●)」ボタンと「カセットテープ再生(▶)」ボタンを同時に押すと録音を開始します。 「カセットテープ録音(●)」ボタンを押すと「カセットテープ再生(▶)」ボタンも一緒に動きます。 3. 録音する音源(ディスクまたは外部入力)の楽曲を再生します。 ※ご注意: ディスクの楽曲の録音レベルは主音量の位置の影響を受けません。 マイクの録音レベルはマイク音量によって変わりますので、マイク音量を上げすぎるとマイクの音がひずんで録音されます。このようなときはマイク音量を下げてください。

■ カセットテープデッキのヘッド部のお手入れ

カセットデッキを長い間お使いになると、ヘッドやキャプスタン、ピンチローラーなどテープと接する部分が汚れ、故障の原因となることがあります。

ときどき市販のカセットクリーニングテープなどでヘッド部のクリーニングを行ってください。

初期設定について

DVDの初期設定は工場出荷時にあらかじめ以下の状態に設定されています。
 初期設定は変更可能な設定のみリモコンを使用して変更することができます。
 設定は電源を切っても保持されます。
 設定を工場出荷状態に戻すにはリモコンの「リセット」ボタンを押してください。
 設定画面の「その他」の項目の「初期化」でリセットを選択しても同じ操作となります。

見出し	設定項目	初期設定	変更可能な設定		
一般設定	画面モード	4:3パンスキャン	4:3レターボックス	ワイド	
	アングルマーク	オン	オフ		
	画面表示言語	日本語	English (英語)		
	字幕	オン	オフ		
	スクリーンセーバー	オン	オフ		
	HDCD	オン	オフ		
	ラストメモリー	オフ	オン		
音声設定	※設定の必要はありません。工場出荷時に適切な状態に設定されています。				
映像設定	※設定の必要はありません。工場出荷時に適切な状態に設定されています。				
その他	テレビ信号方式	NTSC	PAL	自動	
	音声設定	日本語	英語、イタリア語、ポルトガル語、中国語など		
	字幕言語	日本語	英語、イタリア語、ポルトガル語、中国語など		
	メニュー言語	日本語	英語、イタリア語、ポルトガル語、中国語など		
	視聴制限	8 ADULT	1KID ~ 7NC17		
	パスワード	パスワードモード	オン	オフ	
		パスワード変更		初期のパスワードは、「0000」です。	
初期化	—	リセット			

※ 音声設定、映像設定を変更した場合は、設定を終了し、リモコンの「リセット」ボタンを押して、設定を初期に戻すことをお勧めします。
 ※ 「その他」の「音声設定」・「字幕設定」・「メニュー言語」では、ディスクに記録されている言語のみ対応が可能です。

■ 設定変更のしかた

1. リモコンの「設定」ボタンを押して、設定メニューを表示します。

- リモコンの「設定」ボタンを押すと、本機に接続されているテレビまたはモニターの画面に設定メニューが表示されます。
 このときの見出しは、一般設定が選択されています。(選択している見出しは黄色に表示されます。)

2. リモコンの「カーソル(◀/▶/▲/▼)」ボタンを押して、設定項目を選択します。

- 設定項目を移動するにはリモコンのカーソルの「▲/▼」ボタンを押します。
- このとき選択した設定項目は緑色で表示され、現在の設定されている設定項目は茶色で表示されます。

3. リモコンの「カーソル(▲/▼)」ボタンを押して、設定内容を変更します。

- 現在の設定から変更したい設定内容をリモコンの「カーソル(▲/▼)」ボタンを押して選択すると、選択した設定が緑色で表示されます。

4. リモコンの「決定」ボタンを押します。

- 設定が完了すると選択した設定が緑色から茶色に変わります。

5. 前の選択項目に戻るには、リモコンの「カーソル(◀)」ボタンを押します。

- リモコンの「カーソル(◀)」ボタンを1回押すと1つ前の項目に戻ることができます。

6. 設定メニューを解除するには、リモコンの「設定」ボタンを押します。

- 設定メニューが表示されているときに、リモコンの「設定」ボタンを押すと設定メニューの表示が解除されます。

■ 設定項目の説明

- アングルマーク：カメラアングル画像を記録したDVDで表示されるマークです。
- スクリーンセーバー：一定時間操作されないときに映像機器の表示部を保護するための画面を表示します。
- ラストメモリー (レジューム)：「オン」に設定すると、再生したときにディスクを前回停止した位置から再生します。

主な仕様

製品名	DVDカラオケシステム	ディスクプレーヤー部	
型番	DVD-K110	再生可能ディスク	本書5ページに記載
本体		映像出力端子	RCAピンジャック(黄色)×1、HDMI端子
電源定格	100V ~ 50/60Hz	音声出力端子(ステレオ)	RCAピンジャック(白色/赤色)×1、HDMI端子
消費電力	20W(スタンバイ時:約5W)	カセットテープデッキ部	
実用最大出力	58W	トラック方式	4トラック2チャンネル
スピーカー	25cmウーハー(4Ω) 9.8cmツイーター(4Ω)	テープ速度	4.75cm/s
受信周波数	806.25MHz ~ 809.50MHz	ワウ・フラッター	0.4%(wrms)以下
変調方式	周波数変調	使用可能テープ	ノーマルテープ専用
受信チャンネル	2チャンネル	ワイヤレスマイク	
チャンネル数	14チャンネル	電源	DC 3V(単3形乾電池×2)
外部入力端子(ステレオ)	RCAピンジャック(白色/赤色)×1	外形寸法	約φ54×252mm(最大直径×長さ)
スピーカー出力端子(モノラル)	RCAピンジャック(黒色)×1	質量	約290g(電池を含まない)
マイク入力端子(モノラル)	φ6.3mm標準ジャック×2 適合インピーダンス1kΩ以下(600Ω推奨)	電波の形式	F3E
付属品	本書5ページに記載	送信周波数	806.25MHz ~ 809.50MHz (250kHz 間隔、14チャンネル)
本体寸法	約383(幅)×650(高さ)×250(奥行) mm	発振方式	水晶発振による周波数シンセサイザー方式
本体質量	約13.6kg	空中線電力	10mW

故障かな?と思ったら

症状	原因	処置
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードのコネクターとプラグが十分に挿入されていない。 ●主電源スイッチを入れていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードのコネクターとプラグを奥まで挿し込む。 ●主電源スイッチを入れる。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーカー出力ケーブルを接続していない。 ●楽曲を再生する機能に切り換えていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーカー出力ケーブルを接続する。 ●楽曲を再生する機能に切り換える。
映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●映像ケーブルを接続していない。 ●映像機器で、映像接続ケーブルを接続した端子と違う入力を選択している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●映像ケーブルを接続する。 ●映像機器で、映像接続ケーブルを接続した端子の入力を選択する。
ディスクを読まない	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが入っていない。 ●ディスクが裏返しに装着されている。 ●ディスクの読み込みに十数秒かかる。 ●ディスクが汚れていたり、傷がついている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクを入れる。 ●ディスクをレーベルの印刷がある側を上にしてしっかり装着する。 ●ディスクの汚れを取る、またはディスクを交換する。
ディスクの読み込み時間が長い	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクの読み込みに十数秒かかる。 ●ディスクが汚れていたり、傷がついている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクの汚れを取る、またはディスクを交換する。
曲番表示が違う	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクに書いてある曲番と表示される曲番が違う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクに記録されている情報が間違っていることがあります。
ディスクの音がとぶ	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクに大きな傷やそりがある。 ●振動する場所に設置している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクを交換する。 ●振動のない場所に設置する。
雑音が多い	<ul style="list-style-type: none"> ●電源雑音の影響を受けている。 ●モーター、蛍光灯などの電気器具、テレビによる雑音の影響を受けている。 ●有線マイクのコードに雑音が入っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグの刃向きを差し換える。 ●本機を雑音源から離す。 ●音声の信号線がGND線でシールドされている有線マイクのコードを使用する。
マイクの音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●マイク音量つまみが最小になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●マイク音量つまみを適切な位置に調節する。
ワイヤレスマイクの電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●ワイヤレスマイクの電源が入っていない。 ●ワイヤレスマイクに電池が入っていない、または電池の極性が違っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ワイヤレスマイクの電源を入れる。 ●電池を正しく入れる。
ワイヤレスマイクの感度が悪い	<ul style="list-style-type: none"> ●ワイヤレスマイクの下部(アンテナ部分)を握っている。 ●ワイヤレスマイクの電池残量が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ワイヤレスマイクを正しく持つ。 ●ワイヤレスマイクの電池を交換する。
有線マイクの音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●マイク本体のスイッチが「OFF」になっている。 ●マイクの接続が外れている。 ●マイク音量つまみが最小になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●マイク本体のスイッチが「ON」にする。 ●マイクを正しく接続する。 ●マイク音量つまみを適切な位置に調節する。

カラオケにならない ボーカル音声が消えない	<ul style="list-style-type: none"> ● マルチDVDカラオケディスクを再生しているときに音声が出るモード、または2ch出力を選択している。 ● カラオケ仕様ではないディスクを再生している。 ● 音声が入った音源を再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● カラオケ音声の切り換えボタンで希望する音声(「音声切」「音声1」「音声2」)を選択する。 ● DVD音声切り換えボタンで5chを選択する。 ● マイク優先ボタンを押すとマイクの音量が大きくなります。
カセットテープに録音できない	● カセットテープの誤消去防止爪が折れている。	<ul style="list-style-type: none"> ● 誤消去防止爪が折れていないカセットテープを使用する。 ● 消去してもよいテープのときは、誤消去防止爪の部分にテープを貼る。
カセットテープに録音したマイクの音がひずむ	● マイク音量が大きすぎる。	● マイク音量を下げる。
ハウリングが起きる キーンという音がする	<ul style="list-style-type: none"> ● マイク音量が大きすぎる。 ● マイクをスピーカに向けている。 ● マイクがスピーカーに近い。 	<ul style="list-style-type: none"> ● マイク音量を下げる。 ● マイクをスピーカーに向けない。 ● マイクをスピーカーから離す。
一部の操作ボタンがきかない	● ディスクにより一部のボタン操作を受け付けられないものがあります。	● ディスクの取扱説明書またはケースの注意書きを読む。
リモコンが機能しない	<ul style="list-style-type: none"> ● リモコンに電池が入っていない、または電池の極性が違っている。 ● 電池が消耗している。 ● 本機とリモコンの間に障害物がある。 ● 本機に強い光が当たっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池を正しく入れる。 ● 新しい電池と交換する。 ● 本機とリモコンの間の障害物を取り除く。 ● 強い光が当たらない場所に本機を移動する。

保証とアフターサービス

● 保証書

- 保証書は、本書に添付されています。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入内容をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 補修用性能部品の保有期間

- 本機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年間です。
- 補修用性能部品とは、その商品の性能を維持するために必要な部品です。
- 消耗部品のご注文などについては販売店または弊社にご相談ください。

● 部品について

- 修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際には、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

● 修理を依頼されるときは・・・持ち込み修理

- 「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店または弊社にご連絡ください。
- 本機は国内専用です。国外での使用に対するサービスは対応できませんので、ご了承ください。

● 保証期間中は

- 保証書の規定に従って、販売店または弊社にて修理させていただきます。
- なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

● 保証期間が過ぎているときは

- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または弊社にご相談ください。
- 修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 消耗品のご注文は販売店または弊社にご相談ください。

■ アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載のお買い上げの販売店または弊社にお問い合わせください。

メールでのお問い合わせ

E-mail : taichitky@anabas.co.jp
ホームページ : <https://www.anabas.co.jp>

電話でのお問い合わせ

☎ 0120-027-329

受付時間

月～金 午前10時～午後5時30分
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

● 個人情報の取り扱いについて

- 株式会社太知ホールディングスは、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。

● 補修修理の仕組み

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

部品名	価格(税抜)	部品名	価格(税抜)
リモコン	¥2,000	取扱説明書	¥420
マイクホルダー	¥500	ワイヤレスマイク	¥5,000
電源コード	¥800		

愛情点検



長年ご使用の機器の点検を!

このような症状はありませんか?

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- 電源コード、プラグに傷が付いていたり、触れると通電しなかったりする。
- 焦げくさい臭いがする。
- 本体がいつもより異常に熱い。
- その他異常や故障がある。

故障や事故の防止のため、使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

株式会社 太知ホールディングス
TAICHI HOLDINGS LIMITED
<https://www.anabas.co.jp>

〒110-0005 東京都台東区上野3丁目2番4号 秋葉原村上ビル3階
お問い合わせ先: 電話0120-027-329 FAX 048-653-7878